

アジア・アジアパラ競技大会 に向けた施設整備

【名古屋市】

～新しくなる競技会場～

名古屋市では、2026年開催のアジア・アジアパラ競技大会に向けて、競技会場となる市施設の整備を行っています。

アスリートがより高いパフォーマンスを発揮でき、全ての人が**安心・安全・快適**にスポーツを楽しめるように、そして**大会後も皆さまに長く親しまれるように**整備を進めています。

瑞穂公園陸上競技場整備（瑞穂区）

メイン
会場

これまで親しまれてきた競技場を、同じ瑞穂公園内に建て替えます。
自然や公園と一体となった外観デザインにより、地域の象徴となる陸上競技場として生まれ変わります。

施設概要(改築後)

敷地面積 約140,000㎡(競技場街区全体)
建築面積 約28,600㎡
延床面積 約61,500㎡
構造階数 RC造及びS造 6階
観客席 約30,000席

開催予定競技

陸上競技(トラック／フィールド・マラソン)
パラ陸上



©2021(株)瑞穂LOOP-PFI※画像はイメージです。

○豊かな自然を生かした快適な観戦環境



©2021(株)瑞穂LOOP-PFI※画像はイメージです。

開放的なコンコースにより内側の観客席に風を送り込みます。小梁を渦巻き形にすることでブレースを兼用した架構の膜屋根は、全ての観客席を覆いながら自然光をやわらかく取り込みます。

○公園と一体の場となるコンコース



©2021(株)瑞穂LOOP-PFI※画像はイメージです。

陸上競技コンコースはスポーツイベントが開催されない際に開放され、公園と連続した空間となって利用者の様々な活動の場となります。

アジア・アジアパラ競技大会 に向けた施設整備

【名古屋市】

施設の整備方針

大会のコンセプトに基づき、競技会場は既存施設を最大限活用して整備を行っています。

【老朽化への対応】

- ★屋根の防水改修
- ★内外装改修
- ★機械・電気設備の改修・更新 など

【バリアフリーへの対応】

- ★トイレの洋式化
- ★バリアフリートイレの設置
- ★車いす観客スペースの増設 など

【競技仕様への適合】

- ★照明のLED化
- ★テニスコートのハード化
- ★ドーピングコントロールルーム設置 など

東山公園テニスセンター（天白区）

開催予定競技

テニス(テニス／ソフトテニス)、車いすテニス

施設概要

RC造・一部S造
センターコート
約3500席



センターコート(イメージ図)

工事種別

センターコート改築＋既存改修

市総合体育館（レインボーホール）（南区）

開催予定競技

体操(体操／新体操／トランポリン)、ボッチャ

施設概要

RC造・一部SRC造
観客席 約7000席



レインボーホール 外観

工事種別

既存改修

港サッカー場（港区）

開催予定競技

サッカー

施設概要

RC造・一部S造
観客席 約5500席



メインスタンド 外観

工事種別

既存改修

稲永スポーツセンター（港区）

開催予定競技

パラフェンシング

施設概要

RC造(一部SRC造・S造)
観客席 約3200席



稲永スポーツセンター 外観

工事種別

既存改修